

大規模災害に備える

高度救助隊発足

HYPER RESCUE

問い合わせ 警防室 ☎254-1601 FAX256-7755

救助のエキスパート 高度救助隊

津市消防本部では、南海トラフの巨大地震などの大規模災害に備え、4月に「高度救助隊」を発足させました。

高度救助隊は、これまでの特別救助隊よりさら

に専門性や高度な技術をもった救助のエキスパート部隊です。画像探索機などの高度救助用器具を装備し、特別な教育・訓練を受けた隊員で構成しています。現在、12人の隊員を配属し、2班体制で活動しています。救急救命士の資格を持った隊員も含まれ、災害現場で、まさに救助中の段階から救命処置をすることができます。

より多くの命を救うために

高度救助隊の発足に併せて、救助工作車Ⅲ型(四輪駆動)を導入しました。この車には、高度救助用器具をはじめ、さまざまな災害に対応するための装備を載せています。

暗闇での活動をしやすくする装置や、小型力

メラ、電磁波やわずかな音で生存者の位置が分かる機械など。隊員たちが、これらを使って取り残された人を見つけ出し、救助します。これまで救助が難しかった場面でも、より多くの命を救うことが期待できます。

LED照明装置
LED照明を採用し夜間の活動が容易に



■高度救助用器具

地震警報器

地震の発生を検知し、震災現場で活動する隊員に音や光で知らせます。



電磁波探查装置



電磁波により、倒壊建物等に取り残された人の心臓の鼓動や肺の動きを捉え、位置を特定します。

画像探索機

がれきなどの隙間に小型カメラを挿入し、モニターに内部の様子を映し出します。また、内部の温度やガス濃度も測定できます。



地中音響探知機

人の耳では聞き取れないような、ごくごく小さな音をキャッチし、土砂やがれきの中に取り残された人の存在を確認します。



熱画像直視装置

人が発する熱などを感知し、暗闇や煙の中に取り残された人を探し出します。

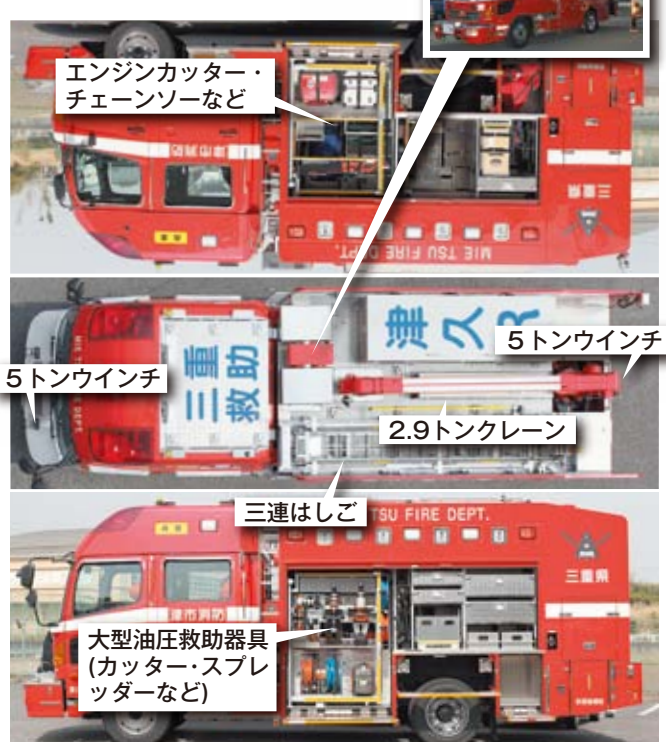


夜間用暗視装置

暗闇でも安全に活動できる視界を確保します。



■救助工作車Ⅲ型の装備



エンジンカッター・チェーンソーなど

5トンウインチ

5トンウインチ

2.9トンクレーン

三連はしご

大型油圧救助器具(カッター・スプレッダーなど)

■高度救助隊員の証

高度救助隊員は、左腕に隊員の証である「高度」の文字が入ったエンブレムを付けています。

